

アジア経済研究所図書館

グループ学習室&見学ツアーご利用のご案内

～開発途上国の資料・情報を知るために～

日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館（アジ研図書館）は、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニアの開発途上国・地域の経済・政治・社会などに関する資料を世界各国から収集し、一般公開している図書館です。

豊富な文献資料を使いながら、ゼミをしませんか？



◆ グループ学習室があります

アジ研図書館には、館内資料を持ち込んで自主学習をすることができる予約制の学習室（35名収容可能）があります。ご希望があれば、無料でプロジェクタやスクリーンをお貸しいたしますので研究活動にお役立てください。

◆ 地域専門のライブラリアンも協力します

アジ研図書館には、世界の地域ごとに専門のライブラリアンが常駐し、資料のご相談に応じています。パソコンを使って所蔵資料の特色や利用方法、ホームページの活用方法をご説明します。

◆ ゼミ合宿にも最適です

長期休暇を活かしてアジ研近辺に宿泊し、数日間じっくりアジ研図書館で研究してみませんか。豊富な資料に囲まれ、すぐに調べ物ができる環境でのゼミ合宿は、他の宿泊施設とは一味違うものになるはずです。平日は食堂も営業しています。

まずは見学から・・・という方も大歓迎です

◆ 図書館内見学ツアー（所要時間：20分）

見学会の基本コースです。図書館スタッフが様々な蔵書の特色をご説明しながら、全館をご案内します。

◆ オプション・プログラム

「図書館内見学ツアー」に下記のプログラムを加えることができます。組合せ・時間等はご相談に応じます。

① アジア経済研究所のご紹介（30分）

研究所の歴史や活動をDVD映像でご紹介します。

② 地域別所蔵資料の概要・利用方法説明会（30分～）

所蔵資料の概要・探し方の他にも、ご要望に応じて特定の地域に関する所蔵資料の特色などをご説明します。

③ 電子資料の利用案内（30分～）

オンラインデータベース、電子ジャーナルの利用方法について詳しくご説明します。



お問い合わせ

電話：043-299-9707 FAX：043-299-9734 Email：Libtour@ide.go.jp

住所：千葉市美浜区若葉 3-2-2

交通：JR 京葉線海浜幕張駅徒歩 10 分、JR 総武線幕張駅徒歩 20 分

URL：<http://www.ide.go.jp/Japanese/Library>

お申込み方法は裏面をご覧ください →

グループ学習室ご利用のご感想

今回、アジア経済研究所(通称、アジ研)を訪問してみて、私が一番魅力に感じたのは、雑誌の蔵書が多いことでした。やはり、研究というのは日々進んでいるもので、ある研究が図書になるまでに、長い時間がかかってしまいます。そのため、雑誌に掲載されている論文というのが、リアルタイムな情報として非常に価値が高いと思います。その雑誌の蔵書が多いというのは、アジ研の大きな魅力の一つだと思います。また、多くの蔵書を抱えるなかで、自分の欲しい情報を効率よく検索できるシステムも魅力の一つでした。

しかしながら、アジ研に関してネックとなっているのは、何ととっても遠いということです。幕張という場所は、学校帰りに簡単に寄って帰れるというものではありません。もう少し近場にあれば、頻りに利用することができたかもしれません。しかし、職員の方のお話によると、「NACSIS-ILL」という図書館間相互貸借システムがあるとのことでした。これによって、自分の大学の図書館でアジ研の資料を取り寄せることができます。これなら、私たちでもアジ研を有効に活用することができます。このシステムも大きな魅力だと思いました。

アジ研はどの図書館よりもアジアに詳しい図書館です。アジアに興味がある人にとって、欲しい情報を探す場として、ここ以上の施設はありません。今後もアジア研究の最先端として、さらに充実した施設になってほしいです。(埼玉大学経済学部経営学科4年 伊藤勇氣さん)

My name is Sukchareonpong Rittapol from Thailand and this is my second time here.

This time my purpose is to find some data about healthcare in Thailand and I found valuable statistics to use in my dissertation.

I really hope that this kind of place can be around for researcher or even ordinary people who want to have more knowledge in their interested.

Before I go back, I just relax and read Thai news paper which I can't find in any other places.

Thank you for your warm welcome and hope to come back again. (埼玉大学大学院 Sukchareonpong Rittapol さん)

2011年7月16日(土)に、埼玉大学経済学部の遠藤環先生と35名の学生さんがグループ学習室をご利用くださいました。当日は、ライブラリアンがOPACでの資料の探し方を説明した後、2グループに分かれて館内見学ツアーを行いました。午後は、大学院生は個人研究、遠藤ゼミの学部生や「タイ事情」受講生は、グループごとに文献資料を収集し、グループ学習室に持ち込んで共同研究を進めました。「タイ事情」受講生グループは、タイにおける労働事情、女性の地位、人身売買、移民問題などに関わる資料を収集し、研究発表のための準備を進めたそうです。



遠藤環先生と学生のみなさん

申し込み先

以下のいずれかの問い合わせ先までご連絡ください。館内施設・資料のご利用はすべて無料です(複写サービス除く)。

電話: 043-299-9707 / FAX: 043-299-9734 / Email: Libtour@ide.go.jp (資料企画課見学担当)

1. グループ名 ○○サークル、○○大学○○学部○○ゼミ、○○中学校○○クラブ等。なければ記入不要です。
2. 人数
3. 代表者名
4. 住所
5. 電話番号 日中のご連絡先をご記入ください。
6. Eメールアドレス
7. 希望日時
8. 希望内容
9. 関心のある国・テーマ
10. その他のご要望